

2021年度 第3回10月京大本番レベル模試地理 採点基準

**1 単答記述問題**

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

**2 論述問題**

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

**3 共通減点基準**

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

**4 採点記号について**

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

**5 設問別加点基準**

- 1)           部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。

**I**

問(2)② 4点

地方語の多いインドでは英語を準公用語としており、発展するICT産業従事者などインターネットに接触可能な階層に話者が多い。

【加点ポイント】

- ① 英語が準公用語である／英語が公用語の一つである →2点
- ② (①の背景) 地方語が多い／ヒンディー語の話者は人口の4割程度である  
／イギリスが旧宗主国／かつてイギリスの植民地だった →1点
- ③ (産業について) ICT産業 (IT産業／ハイテク産業) が発展している →1点

問(3) 3点

経済的に貧しいマレー系住民を中国系住民より優遇するブミプトラ政策が実施された。

【加点ポイント】

- ① (人口の多い民族) 「マレー系」と「中国系」 →1点
- ② (政策の内容) マレー系を優遇する →1点
- ③ (政策の背景) マレー系は経済的に貧しい／中国系が経済的優位である →1点

問(4)② 3点

北部は臨海部で工業化が進み、南部はかつて繁栄した石炭産地の衰退が著しい。

【加点ポイント】

- ① (経済格差について) 北部が南部より優位／北部は発展し南部は衰退している  
／以前は南部優位だったが現在は北部が優位である →1点  
(※解答中で、現在の北部優位が読み取れれば加点)
- ② (北部について) 臨海部で工業化が進む／石油化学工業が発達  
／工業・サービス業が発達／近年工業化が進んだ →1点
- ③ (南部について) 石炭産地が衰退／鉄鋼業が衰退 →1点

Ⅱ

問(1) 1点×2

「解答図」の通り。

※「N」「C」の欠落 → 加点しない

※ Nは大陸から、Cは小アンティル諸島から、大きく離れていないこと。

問(2)② 4点

アは沖合を寒流のペルー海流が流れ大気が安定するためである。ウは偏西風がアンデス山脈の風下になり、年中乾燥した風が吹いてくるためである。

【加点ポイント】

① (アは) 大気が安定する／大気の逆転が生じる

／大気の下層が上層より低温になる → 1点

② (①の要因) 寒流 → 1点

(※①②をまとめて「海岸砂漠であるから」のみ → 1点)

③ (ウは) 偏西風が吹く → 1点

④ (ウは) アンデス山脈の風下側に位置する

／③が山脈の西側で雨を降らせ(地形性降雨となり) 東側は乾燥する

／アンデス山脈により雨陰砂漠となる → 1点

問(3) 3点

アマゾン川流域は、熱帯雨林気候下にセルバと呼ばれる熱帯雨林が分布し焼畑農業が行われるが、近年は牧牛や大豆栽培もみられる。

【加点ポイント】

① (河川名と気候区名)「アマゾン川」と「熱帯雨林気候／熱帯雨林気候区」 → 1点

② (植生の名称) セルバ → 1点

③ (農業の特徴) 焼畑農業／焼畑／牧牛／大豆栽培 → 1点

Ⅳ

問(2)② 4点

死亡率の低下時期が遅く出生率が高いままで、経済成長が遅れ、女性の教育水準が低い。

【加点ポイント】

- ① 出生率が高い／出生率の低下が遅い →1点
- ② 死亡率の低下が遅い／近年死亡率が急減した →1点
- ③ 経済成長が遅れている／国民所得が低い／1人当たりGNIが低い →1点
- ④ 女性の教育水準が低い／女性の識字率が低い →1点

問(3)② 3点

アメリカ合衆国には、多数の移民が流入し、移民は若い世代が多く多産傾向であるから。

【加点ポイント】

- ① (イの国名) アメリカ合衆国 →1点
- ② (少子高齢化が遅い理由) 移民が多い／ヒスパニックが多数流入している →1点
- ③ (②は) 若い世代が多い／子供を産む世代が多い／多産傾向である  
／カトリックが多く避妊や中絶に否定的である →1点

問(4)③ 3点

東南・南アジア出身の男性労働者が建設業に従事している。

【加点ポイント】(※「(4)②：P」の可否は不問とする)

- ① 男性労働者が多い／男性の出稼ぎが多い →1点
- ② (①は) 建設業／土木工事／インフラ整備 などに従事 →1点  
(※「石油産業」のみでは加点しない)
- ③ (①は) 東南アジア／南アジア の出身が多い →1点

Ⅳ

問(3)① 4点

中国では近年の経済発展に伴う所得水準の向上と世界一の人口とが相まって、海外旅行者数が急増したため。

【加点ポイント】

- ① (Bの国名) 中国 →1点
- ② 海外旅行者数が急増した／中国人の海外旅行者が増えた →1点
- ③ (②の理由) 経済発展／所得水準の向上／富裕層が増えた →1点
- ④ (②の理由) 世界一の人口／人口が多い／ビザの発給緩和  
／LCCの台頭／円安で日本への旅行者が増えた →1点

問(3)② 4点

スペインとフランスは、シェンゲン協定により近隣国との国家間移動が容易であり、両国間の地中海沿岸を拠点とするバカンス文化が根付いているため。

【加点ポイント】

- ① (国名) 「スペイン」と「フランス」 →1点
- ② (制度的背景) 近隣国との国家間移動が容易／国境管理が廃止された  
／入国にパスポートやビザが不要 →1点
- ③ (②について) シェンゲン協定による／EU内である →1点
- ④ (文化的背景) バカンス文化が根付いている／バカンスを地中海沿岸などで過ごす  
／暖かい気候を求めて北中欧から多くの観光客が集まる →1点

問(4)① 3点

サービス簡素化等のコストカットにより、低価格航空輸送を提供する航空会社。

【加点ポイント】

- ① 低価格航空輸送を提供／安い運賃の航空会社／格安航空会社 →2点
- ② (低価格の背景) サービス簡素化／小型機の利用／運航コストの低減  
／航空券のネット販売／キャンセル料の厳格化／人件費の節減 →1点

問(4)② 2点 (完答) インドネシア・マレーシア (※順不同)

V

問(1) 3点

瀉湖の湖面から、数多くの島が突き出していた。

【加点ポイント】

① 湖面に多数の島が見えた →3点

問(2) 4点

土地の隆起の前は砂州だった場所に立地しており、周囲より高いため水害に遭いにくい。

【加点ポイント】

① (元の地形) 砂州 →2点

② (立地の理由) 水害に遭いにくい →1点

③ (②の理由) 周囲より標高が高い／丘になっている →1点

問(3) 4点

かつての湖底だった低湿な平坦地に最も多いが、丘陵地上のため池の周辺にもみられる。

【加点ポイント】

① かつての湖底／瀉湖であったところ →2点

② (①の特徴) 低湿／平坦地 →1点

③ (その他) ため池の周辺／丘陵地／緩斜面 →1点

問(4)② 4点

外輪山にあたる山地に囲まれた円形の湖の底に、中央火口丘にあたる浅い部分がある。

【加点ポイント】

★「問(4)①：カルデラ」の正解を加点の前提とする

① 湖の周囲に山地がある／大型の円形の窪地に水が溜まっている →1点

② (①は) 外輪山である →1点

(※①②をまとめて「湖の周囲に外輪山がある」 →2点)

③ 湖の底に浅い部分がある／湖の中に小さな山がある

／水深 253m (29m) の、周囲より高いところがある →1点

④ (③は) 中央火口丘の跡である／新たな火山の火口だったところである →1点

問(5) 4点

Yの酸性の水を、田沢湖を経由させることで酸性を弱めてから、稲作と水力発電に用いるため。

【加点ポイント】

① (田沢湖に引水した理由) Yの酸性を弱める／Yの水質を改善する →2点

② (①の目的) 稲作に用いる／田に引水する／農業用水にする →1点

③ (①の目的) 水力発電に用いる／発電用水にする →1点